

# がまこおり 議会 だより

## 12月市議会定例会

一般質問…ここが論点……………	2～ 6
議決された主な議案……………	7～ 10
委員会通信……………	11
議会日誌、3月定例会予定等……………	12

NO. 106  
2020.2



千賀滉大投手・伊藤康祐選手野球教室



# 一般質問…ここが論点

12月市議会定例会中、12月5日、6日、9日の3日間で、市政全般について17人の議員が一般質問を行いました。その中から主なものを要約して掲載します。

詳しい内容をお知りになりたい方は、12月定例会会議録を市立図書館などでご覧いただくか、蒲郡市議会ホームページの会議録検索システムをご覧ください。発行・掲載はいずれも2月下旬の予定です。

また、インターネット上でライブ中継と録画中継も実施していますので蒲郡市議会ホームページからご覧ください。

## ■ 一般質問

日程	議員名	主な質問の項目
12月5日(木)	大須賀 林	<a href="#">風水害被害防止に向けた対応</a> 内水氾濫
	藤田 裕喜	海岸漂着ごみ対策 移住・定住促進施策 <a href="#">子育て応援アプリ</a> <a href="#">子どものインフルエンザワクチン接種への費用助成</a>
	竹内 滋泰	<a href="#">新年度予算編成</a> <a href="#">新市長のマニフェスト</a>
	青山 義明	<a href="#">市民体育センター</a> 企業誘致 <a href="#">シティセールス</a>
	鈴木 貴晶	<a href="#">空家対策</a> <a href="#">子どもたちをとりまく環境の改善と見直し</a>
12月6日(金)	柴田 安彦	<a href="#">市財政の現状と今後の行政運営</a> 下水道浄化センターでの生し尿・浄化槽汚泥処理
	牧野 泰広	<a href="#">防災・減災</a> 学校プール
	尾崎 広道	<a href="#">消防施設</a> <a href="#">消防団</a> <a href="#">市職員の立ち振る舞い</a>
	稲吉 郭哲	春日浦地区 <a href="#">一色不燃物最終処分場</a> <a href="#">南海トラフ地震</a>
	大向 正義	若手職員の人材育成と市の活性化 地球温暖化対策 <a href="#">医師会への委託事業</a>
	日恵野 佳代	新市長の基本姿勢 <a href="#">市民が安心して暮らせる蒲郡づくり</a>
12月9日(月)	鎌田 篤司	<a href="#">新市長の政策理念</a> <a href="#">高齢者安全運転支援補助金制度</a>
	大場 康議	<a href="#">一色不燃物最終処分場</a>
	鈴木 将浩	<a href="#">市のホームページの運用</a>
	鈴木 基夫	<a href="#">市民病院</a> ヘルスケア計画
	松本 昌成	<a href="#">子どもの貧困対策</a> <a href="#">民生委員・児童委員</a> 地域共生社会
	喚田 孝博	<a href="#">新市長のマニフェスト</a>

※[下線付の項目](#)は次ページより質問と答弁の要旨を掲載しています。

大須賀 林 (自民党市議員)

台風等による風水害被害  
防止に向けた対応は

**問** 防災対策に取り組み市長の決意を伺う。

**答** 大型化する台風や南海トラフ地震への総合的な防災対策は、行政の責務であり、課題であると考えており、災害への備えをさらに進め、対策の充実に力を尽くす。また、危機管理として問われるのは行政の総合力であり、「ワンチーム」の精神で災害時でも発揮される体制づくりに努め、災害に強いまちづくりの実現のため、誠心誠意取り組み



所信表明を行う鈴木寿明新市長

んでいく。

**問** 総合的な排水計画の策定の考えは。

**答** 現時点で策定の考えはないが、近年、全国各地で豪雨災害による被害が多発しているため、今後に備え大府市等の計画を参考にしたい。

藤田 裕喜 (市政クラブ)

子育て応援アプリ「うーみんナビ」について

**問** アプリ内で市が主催する子育てに関するイベント情報や、児童館の行事などの告知を配信できないか。

**答** アプリ内で子育てに関する情報提供は可能である。今後は幅広く情報を収集し、カレンダーに表示することで、使いやすく見やすいアプリに改善していきたい。

子どものインフルエンザワクチン接種への費用助成を

**問** 対象を限定してでも子どものインフルエンザ



ワクチン接種への費用助成を実現できないか。

**答** 限られた予算の中で、公費による予防接種事業の成果など慎重に見きわめながら対応したい。

竹内 滋泰 (自民党市議員)

新年度予算編成に向けて病院事業会計の状況は

**問** 令和元年度の決算見込みは。

**答** 病床利用率や手術件数が平成30年度を上回る約8600万円の赤字だった経常収支が、8000万円程度の赤字にまで改善されると見込んでいる。

新市長のマニフェストについて

**問** シニアの行動範囲を自由に楽しく広げる施策の具体的な取り組みは。

**答** シニア世代が自由に行動するには、公共交通の整備が必要である。今年度は、三谷地区で公共交通協議会が立ち上がったが、今後も地域のニーズを把握した上で交通空白地の解消に取り組みたい。

青山 義明 (自民党市議員)

新体育館建設構想について

**問** 建設予定時期について伺う。



現在の市民体育館

**答** 政策理念に掲げた「ひとづくりを進める中で、誰もがスポーツを楽しめる環境整備は重要と考える。具体的な時期については、今後、議論を深め、検討していきたい。

官民一体のシテイセールスについて

**問** 市の方向性について伺う。

**答** シテイセールスは市の魅力をブランドとして確立し、地域内外に戦略的かつ継続的にアピールする取り組みであり、官民一体で取り組みれば大きな波及効果が期待できると考える。今後、検討を進め、専任担当を設置していきたい。

鈴木 貴晶 (自由クラブ)

空家対策における地元金融機関との連携を

**問** 他市では金融機関と連携し、空家解体ローンの利子を補助する利子補給事業を実施しているが、近隣の状況と今後の導入につ

いて伺う。

**答** 今後、開催する空家セ  
ミナーや相談会での連  
携は有効と考える。利子補  
給事業の実施自治体は少な  
いが、今後も先進自治体の  
動向を注視し、空家等解体  
費補助金とも併せ、効果的  
な施策を検討していきたい。

**高校3年生までの  
医療費助成拡大について**

**問** モーターボート競走事  
業の市財政への貢献を  
可視化するため、収益を活  
用した助成実施の考えは。  
**答** 今後、研究していきた  
いと考えている。

**柴田安彦（無党派）**

**ランドデザイン  
の策定について**

**問** 市長は「公共施設マネ  
ジメントに関するグラ  
ンドデザインの策定」を掲  
げているがどういふものか。  
**答** 学校など市内に複数あ  
る施設について、施設  
類型ごとの将来を見据えた  
施設のあり方や考え方が整



理されていないと考えてお  
り、こうした施設のあり方  
や考え方をランドデザイ  
ンと表現した。

**問** 地区個別計画の中で施  
設の方向性も示され、  
4地区ではワークシヨップ  
も終えているが、ランド  
デザインは、いつ、誰が、  
どのように策定し、地区個  
別計画にどう反映させるの  
か。

**答** どのように策定するか  
は決まっていないため、  
いつとは言えないが、策定  
したら公表していく。

**牧野泰広（自由クラブ）**

**河川のしゅんせつについて**

**問** 今年度の予算と、その  
執行状況は。



落合川

**答** 前年度比740万円増  
の1440万円を計上  
し、その増加分で堆積土砂  
の多い西田川、落合川、尺  
地川、天神川のしゅんせつ  
を行う。12月中に契約、1  
月から着工予定である。

**問** 次年度以降の河川の堆  
積土砂対策は。

**答** 市内の主要11河川、延  
長約22kmを調査した結  
果、約10kmで約1万760  
0㎡の堆積土量が確認され  
た。  
調査結果を5段階で評価  
し、最も堆積が多いレベル  
5、その次に多いレベル4  
の区間の中で、洪水時にお  
ける災害防止を図るうえで

優先順位の高い箇所からし  
ゅんせつを進めたいと考え  
ている。

**尾崎広道（自由クラブ）**

**消防署西部出張所と消防団  
第8分団詰所について**

**問** 2施設とも古く、移転  
新築すべきと思うが市  
の計画は。  
**答** できるだけ早く計画案  
をとりまとめ、業務開  
始できるように検討・研究す  
る。

**市職員の立ち振る舞い  
について**

**問** 廊下の歩き方や言葉遣  
いなどの接遇研修は。

**答** 廊下では来庁者を優先  
し、親切丁寧な言葉遣  
いを心がけるといった接遇  
研修を今後も実施していく。  
**問** 市ホームページに苦情  
窓口を設置する考えは。

**答** 既にトップページに、  
ご意見・ご相談のリン  
クを設置しているが、より  
分かりやすい表記となるよ  
う見直しを図りたい。

**稲吉郭哲（自由クラブ）**

**一色不燃物最終処分場の  
現状と今後の計画は**

**問** 現在の状況及び廃止見  
込みと廃止後の跡地利  
用について伺う。

**答** ガスは発生しているが、  
環境上は全く問題なく、  
埋め立て区域内立入禁止に  
より安全性を保っている。  
廃止時期はガスの発生によ  
り見込めず、具体的な利用  
計画が立てにくい状況だが、  
引き続き跡地の有効利用を  
検討していきたい。

**南海トラフ地震について**

**問** 地震臨時情報（巨大地  
震警戒）発表時の市民  
への広報活動は。



防災ラジオ



**答** 防災行政無線、防災ラジオ、広報車等での広報と消防団等とも連携し、非常事態に備えた広報活動を実施したい。

**大向正義**（自民党市議員）

**在宅当番医制度の協議について**

**問** 医師会が担ってきた在宅当番医制度は、最近では市民病院の救急外来を利用される方が増え、在宅当番医を利用される方が少ないようだが、医師会からどのような申し入れがあったのか。

**答** 平日の在宅当番医を利用する市民が少ないことや高齢者の増加に伴い医

療の内容が在宅訪問医療に移行していることから、令和2年度以降の在宅当番医制度の変更について協議の申し入れがあった。

**問** 医師会からの協議申し入れ書への市の対応を伺う。

**答** 医師会への聞き取りを行い、その後、市としての方向性を固めたので、文教委員会に報告後、医師会に回答していきたい。

**日恵野佳代**（無党派・日本共産党）

**市民が安心して暮らせる蒲郡づくりについて**

**問** 地域に根差した経済活動で雇用を支える小規模事業者の支援が必要である。住宅リフォーム助成制度の再開、商店リニューアル助成事業の実施の考えは。

**答** 住宅リフォーム助成事業は市内の建設業を中心に直接の経済効果があったと認識しているが、一時的な補助ではなく、持続的な経営と自発的な発展への取り組みを支える施策や起業への支援が重要と考える。

**問** 核兵器廃絶を訴えた口ーマ教皇のスピーチへの市長の感想は。

**答** 核兵器廃絶を強い言葉で訴えたスピーチに大変共感した。国の動向を見守りつつ、市民の皆さんが同じ方向を見つめ、核兵器廃絶に向け、できる限りの取り組みを進めたい。

**鎌田篤司**（市政クラブ）

**新市長の政策理念について**

**問** 市長が任期の4年間でやりたいことは。

**答** トップセールスを積極的にやりたい。ロケーションサービスや特産品の開発などのシテイセールスを官民一体となって展開し、国内外に向けた発信力の向上を目指したい。

**問** 高齢者安全運転支援補助金制度の導入について

**答** 県内他市における導入状況は。西三河では豊田市ほか4市、東三河では豊橋



市が実施している。

**問** 制度導入に対する市の考えは。

**答** 国、県、近隣市町の状況を注視しながら、導入に向けて検討を進めていきたい。

**大場康議**（自民党市議員）

**一色不燃物最終処分場について**

**問** 埋め立てを終了し、4年が経過している。廃止に向けて県と協議しているとのことだが、廃止後の処分場用地を購入取得する考えについて伺う。

**答** どのような目的で購入するか、廃止後の跡地利用を考えた上で、購入方法等の検討を進めていきたい。用地の大部分が借地であり、賃借料が発生しているため、速やかな対応が必要と考える。

**問** 用地の利活用の考えを伺う。

**答** 市役所内の関係部署で組織する跡地利用検討会議で検討しているが、廃止時期が見込めず、具体的な利用計画が立てにくい状況である。跡地利用を計画したうえで購入を進められるよう検討していきたい。



一色不燃物最終処分場

鈴木将浩（自民党市議員）

ホームページの運用について

**問** 災害時にアクセスが集まらず、もし閲覧できなくなつた場合の対応は。

**答** 浦添市と災害時の情報発信に関する応援協定書を締結し、相互に代行発信する体制を整え、テストも行っている。

**問** 市はオープンデータとして人口の1種類しか対応していないが、今後の対応方針は。

**答** 運用や管理面でのルール作りが必要なので、段階的に国の推奨データセットに準じた整備を進めていきたい。



**問** SNS・特設サイトの管理がされておらず、ガイドラインの必要性を感じるが、市の考えは。

**答** まずは各部署での開設状況を把握し、ガイドラインについても検討する。

鈴木基夫（自由クラブ）

市民病院でのプライマリケア（総合診療）は

**問** プライマリケアへの現状での取り組みは。

**答** 患者支援センターを開設し、地域全体でのプライマリケアの実現を考えている。そのうえで、新たに内科の診察室を1室増設し、何科で受診すればよいか分からない患者に総合的な診療を行い、専門的な治療が必要な場合は、速やかに該当の診療科で治療が受けられる体制としている。

**問** 今後の方向性について伺う。

**答** 市内唯一の二次医療機関の市民病院においても、予防医療の知識も含めて幅広い臨床の知識が必要で、それを駆使した診断が



患者さんに対して、最善の医療を行う市民病院

非常に重要である。人材育成を含め、早急に本格的な総合診療科の整備ができるように取り組みたい。

松本昌成（公明党市議員）

子どもの貧困対策について

**問** 本市の子どもの貧困対策計画について伺う。

**答** 貧困対策やひとり親家庭への支援等を含め、第2期蒲郡市子ども・子育て

支援事業計画の施策展開の中に貧困対策計画を位置付ける。学習支援の充実と子ども食堂への支援を中心施策とし、あらゆる面から施策を展開していきたい。

民生委員協力員制度について

**問** 制度導入に対する市の考えは。

**答** 民生委員・児童委員の負担軽減を目的に導入している自治体がある。委員の支援やなり手不足解消のため、制度導入の有効性について今後も情報収集に努め、研究していきたい。

喚田孝博（自民党市議員）

蒲郡駅北口周辺の再開発について

**問** 民間活力を誘導して再開発を進めるには、市としての全体構想を持つ必要があるのでは。

**答** まちづくりの上位計画に照らし、関係部局と連携しながら、事業者と事業計画を調整していく。



蒲郡駅北エリア

**問** 公共サービスの提供を民間の施設で行えるよう調整はできるか。

**答** 民間事業者が事業計画を立てる中で市と検討することはできると考える。

竹島ルネサンス（再生）について

**問** これまでの計画の見直しの進め方は。

**答** まずは東港一帯を検討し、公共主体が民間手法等の検討を行った後に計画の見直しを進めていく。

# 手話言語条例の制定などを議決

12月市議会定例会は、12月5日から16日までの12日間の会期で開き、議案18件、請願1件、意見書案2件を審議しました。  
手話言語条例の制定など、主な内容をお知らせします。

## 12月定例会 議案

### 条例の制定・改正・廃止

● 人事院勧告に基づく給与等の改正

(第53号議案)

人事院勧告に基づく国の給与改定に準じて、給与改定及び勤勉手当又は期末手当の引き上げを行います。

一般職員の勤勉手当、特定任期付職員、議員、市長、副市長及び教育長の期末手当について、令和元年12月の支給割合と令和2年6月以後の支給割合を改定します。

また、行政職給料表、医療職給料表及び特定任期付職員の給料表を改定します。  
住居手当については、月額1万6000円(現行1万2000円)を超える家賃を支払っている職員に対して支給するとし、また、住居手当の算定方法を改めます。

● **総務委員会での主な質疑**  
問 平成31年4月適用のプラス勧告による給与改定、勤勉手当のプラス0・05月分の改定の影響額はいくらか。



答 年額で3251万円の増額と試算しています。内訳は給料が844万円、勤勉手当等が2041万円、共済費が366万円です。

問 令和2年4月適用の住居手当の改定による影響額はいくらか。

答 人事院勧告のあった令和元年8月時点で、職員1105名のうち、住居手当受給者は206名であり、増額となる者が82名、変更がない者が6名、減額となる者が118名です。年額で約156万円の減額となります。

● **本会議での主な論点**  
賛成本市では従来から人事院の給与勧告に基づき改定

された国家公務員の給与法等に準拠した給与改定を行い、官民の給与較差を是正し均衡を図ってきた。また、近隣他市でも同様の措置を講じる予定であると聞いている。

● **固定資産評価審査委員会条例の一部改正**  
(第54号議案)  
行政手続等における情報

された国家公務員の給与法等に準拠した給与改定を行い、官民の給与較差を是正し均衡を図ってきた。また、近隣他市でも同様の措置を講じる予定であると聞いている。

通信の技術の利用に関する法律の改正に伴い、引用規定を整理します。

● **総務委員会での主な質疑**  
問 行政手続等における情報通信の技術の利用に関する法律が改正された理由は。

答 従来行政手続のオンライン化に関することだけではなく、あらゆる活動において社会全体が情報通信技術の便益を享受できる社会の実現を目指すため改正されたものです。

問 法律の改正による書面審理に係る引用規定の整理のほか、運用上どのような変更があるのか。  
答 書面審理の際に市長が

### 12月定例会の日程

- 5日 本会議〔会期の決定、諸般の報告、市長の所信表明、議案説明、質疑、討論、採決、一般質問など〕
- 6日 本会議〔一般質問〕
- 9日 本会議〔一般質問〕
- 10日 総務委員会
- 11日 経済委員会
- 12日 文教委員会  
議会運営委員会
- 16日 本会議〔委員長報告、意見書案説明、質疑、討論、採決〕

提出する弁明書については、以前から電子メールなどのオンラインでの提出が可能であり、今回の条例改正は運用については何ら変更を及ぼすものではありません。

### ●南部市民センターの廃止 (第55号議案)

府相公民館の移転新築に伴い、令和2年3月31日をもって南部市民センターを廃止します。

### ●総務委員会での主な質疑 問 廃止後の施設や土地はどうするか。

答 昭和39年に旧耐震基準



新府相公民館 (イメージ図)

で建築された建物であり、耐震性が確保されておらず、今年度末をもって用途廃止された後は令和2年度中に解体し、解体後の土地は所有者である府相区に返還する予定です。

### ●本会議での主な論点

#### 賛成府相公民館の移転新築

が決まり、地元関係者や利用者へ周知を図ってきた。利用者は府相公民館や市民会館等の公共施設、各地区集会所のほか、民間の施設において、これまでの活動が継続できるものと考え、また、地元関係者の理解も得られたことから、廃止は妥当であると判断する。

**反対** 南部市民センターの廃止によって、市民センターが一つもなくなってしまう。市民が自由に活動できる場がどんどん減らされている。市民センターの廃止ありきで進めることは認められない。

### ●文学記念館の設置及び管理に関する条例の一部改正 (第56号議案)

令和2年4月1日から海



海辺の文学記念館

辺の文学記念館に新たに指定管理者制度を導入します。それに伴い、職員の規定の削除などの改正を行います。

### ●経済委員会での主な質疑 問 指定管理者からどのようなサービスが提案されたのか。

答 観光シーズンの週末の開館時間の延長や休館日を設けないなどの提案のほか、キッチンカーによる軽食サービスや蒲郡を舞台とした書籍の朗読会の開催などの提案がありました。

問 経費面ではどのような利点があるか。  
答 指定管理者制度を導入することで、平成30年度の維持・管理に係る経費と比べて、約10%から15%の削減が見込まれます。

### ●手話言語条例の制定 (第57号議案)

#### 手話が言語であるとの認識に基づき、市民一人一人が手話に対する理解を深める者が手話を通じて必要な情報を取得し、手話により十分な意思疎通を図ることができ、環境を整備し、市民が相互に人格と個性を尊重し合いながら共生することができ、地域社会の実現を目的に、手話言語条例を制定します。

**問** 条例制定により、具体的に何が、どう変わるか。  
**答** この条例は理念的な条例であり、制定後に具体的に何がかわることはありませんが、今後は条例の目的や基本理念を市民に周知し、市民の間で手話への理解や普及がさらに進むように必要な施策を推進します。

### ●印鑑条例の一部改正 (第70号議案)

市では、令和2年度以降、市職員向けの研修や、市民が気軽に申し込める初心者向け講座の開催等を検討しています。

成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律の施行を踏まえ、印鑑登録証明事務処理要領が改正されました。このことに伴い、成年被後見人であることを理由に不当に差別されないよう、印



■ 12月定例会で議決された令和元年度補正予算

会計名 (補正号数)	補正の主な内容	補正額	補正後の 予算額
一般会計 (第5号)	道路反射鏡設置工事費 100万円	2,108万円	317億7,453万円
	生活保護システム改修委託料 181万5千円		
	三河大島東浜浮桟橋修繕費 341万5千円		
	市民会館冷却水ポンプ等更新工事費 1,485万円		
下水道事業会計 (第2号)	資本的支出 汚水管渠築造工事費 3,000万円	3,000万円	20億4,840万円
病院事業会計 (第1号)	収益的支出 診療医薬材料費 1億9,000万円	1億9,000万円	85億2,250万円
	資本的支出 医療器械備品購入費 1億1,000万円	1億1,000万円	14億6,350万円
モーターボート 競走事業会計 (第1号)	収益的支出 競走実施費 166億3,340万円 販売促進費 1,300万円 病院事業会計繰出金 3億円	171億800万円	1,106億2,790万円

鑑の登録資格の登録できない者のうち、「成年被後見人」を「意思能力を有しない者」に改正します。

● **文教委員会での主な質疑**  
問 本市では、成年被後見人の方はどれくらいいるのか。  
答 令和元年12月11日現在、78名の方が成年被後見人として登録されています。

その他の議案

● **人権擁護委員の候補者の推薦**  
(第58号議案)

委員金澤佳子氏の任期が令和2年3月31日に満了することに伴い、新たに水藤典子氏を委員の候補者として法務大臣に推薦すること

● **市道の路線認定、廃止及び変更**  
(第65号議案)

追八舗2号線を路線認定し、八舗13号線ほか1路線を廃止します。また、八舗11号線ほか1路線の路線変更をします。

■ 陳情

- **介護・福祉・医療など社会保障の施策拡充についての陳情書**  
提出者 愛知自治体キャラバン実行委員会  
代表者 森谷 光夫  
審査結果 聞きおく (一部「不採択」)
- **国に対して「すべての子どもによりよい幼児教育・保育の無償化の実現を求める意見書」の提出を求める陳情書**  
提出者 愛知保育団体連絡協議会  
会長 本田 たみ代  
審査結果 不採択
- **国の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情書**  
提出者 阪口 理恵  
審査結果 採 択
- **愛知県の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情書**  
提出者 阪口 理恵  
審査結果 採 択
- **私立高校生の父母負担を軽減し、学費の公私格差を是正するために市町村独自の授業料助成の拡充を求める陳情書**  
提出者 阪口 理恵  
審査結果 聞きおく

■ 請願

- ① **常任委員会等のインターネット配信実施についての請願**  
提出者 尾崎 松治  
審査結果 採 択  
(○内の数字は、請願番号)

■ 意見書

- ③ **国の私学助成の拡充に関する意見書**  
内閣総理大臣、財務大臣、文部科学大臣、総務大臣宛て
- ④ **愛知県の私学助成の拡充に関する意見書**  
愛知県知事宛て  
(○内の数字は、意見書案番号)

● 指定管理者の指定

(第59～64号議案)

令和2年4月1日から施設を管理する指定管理者とその期間は左の表のとおりです。

■ 指定管理者が決まった6施設

施設名	指定管理者	指定の期間
海辺の文学記念館	株式会社蒲郡クラシックホテル	3年
ユトリーナ蒲郡	ユトリーナ蒲郡運営企業体	5年
老人福祉センター寿楽荘	社会福祉法人蒲郡市社会福祉協議会	5年
生きがいセンター	公益社団法人蒲郡市シルバー人材センター	5年
図書館	特定非営利活動法人ブックパートナー	5年
公園グラウンド	特定非営利活動法人蒲郡アスリートコミュニケーションズ	5年

■ 全会一致で可決した議案・請願・意見書案 (○内の数字は議案、請願、意見書案番号)

- ⑤4 固定資産評価審査委員会条例の一部改正
  - ⑤6 文学記念館の設置及び管理に関する条例の一部改正
  - ⑤7 手話言語条例の制定
  - ⑤8 人権擁護委員の候補者の推薦
  - ⑤9 指定管理者の指定 (海辺の文学記念館)
  - ⑥0 指定管理者の指定 (ユトリーナ蒲郡)
  - ⑥1 指定管理者の指定 (老人福祉センター寿楽荘)
  - ⑥2 指定管理者の指定 (生きがいセンター)
  - ⑥3 指定管理者の指定 (図書館)
  - ⑥4 指定管理者の指定 (公園グラウンド)
  - ⑥5 市道の路線認定、廃止及び変更
  - ⑥7 令和元年度下水道事業会計補正予算 (第2号)
  - ⑥8 令和元年度病院事業会計補正予算 (第1号)
  - ⑦0 印鑑条例の一部改正
- 請願① 常任委員会等のインターネット配信実施についての請願  
 意見書案③ 国の私学助成の拡充に関する意見書  
 意見書案④ 愛知県の私学助成の拡充に関する意見書

■ 賛否が分かれた議案

○：賛成 ●：反対

議案番号	議案名	自由民主党 蒲郡市議団										蒲郡自由クラブ			公明党 蒲郡市議団			蒲郡 市政クラブ		無会派		
		大向 正義	大場 康議	大須賀 林	喚田 孝博	鈴木 将浩	青山 義明	竹内 滋泰	尾崎 広道	鈴木 基夫	鈴木 貴晶	稲吉 郭哲	牧野 泰広	伊藤 勝美	大竹 利信	松本 昌成	新実 祥悟	鎌田 篤司	藤田 裕喜	日恵野 佳代	柴田 安彦	
53	市職員の給与に関する条例等の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
55	市民センターの設置及び管理に関する条例の廃止	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
66	令和元年度一般会計補正予算 (第5号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
69	令和元年度モーターボート競走事業会計補正予算 (第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※伊藤勝美議員は議長職により採決には参加していません。

# 委員会通信

## 西部地区支線バスの運行について

12月10日に開かれた総務委員会において、西部地区支線バスの運行について報告がありました。

愛称は「みかんの丘くるりんバス」で、令和2年1月4日から火、木、土曜日の週3日運行します。神戸郷町を中心に、図書館、体育センター、市役所等にも停留所を設けます。蒲郡駅への接続により、市外へのお出かけにも利用可能です。また、図書館において、東部地区支線バス」とがみ



くるりんバス」との乗り換えが可能となります。

## 在宅当番医制度の変更、小中学校規模適正化方針（仮称）の策定について

12月12日に開かれた文教委員会において、次のとおり報告がありました。

### ●在宅当番医制度の変更

夜間の救急診療事業として、蒲郡市医師会の協力を得て実施している在宅当番医制度について、医師会から令和2年度以降の変更について協議の申し入れがありました。

現在の在宅当番医制度は、平日・土曜の午後8時から午後11時まで、日曜・祝日・年末年始の午後5時から午後11時まで、医師会員が自院で輪番制にて実施していますが、平日は廃止し、土曜日は午後7時から午後10時まで、日曜・祝日・年末年始は午後5時から午後10時までに変更とするというものです。

## 在宅当番医制度の現状と医師会協議申し入れ案

	現 状	医師会案（令和2年度）
平日	午後8時から午後11時まで	廃止
土曜日	午後8時から午後11時まで	午後7時から午後10時まで
日曜/祝日 年末年始	午後5時から午後11時まで	午後5時から午後10時まで

市は、平日夜間の在宅当番医制度の利用者は少なく、市民病院の救急外来を利用する患者が多いことや、市民アンケートの結果も踏まえ、平日を市民病院に定点化することで、分かりやすくなり、入院や高度医療につなげやすい体制になると、医師会への補助金削減など効果があると判断し、変更案を受け入れることとしました。なお、利用者が

多い土曜・日曜・祝日・年末年始の在宅当番医制度は時間を変更して継続します。令和2年4月1日からの実施に向け、今後は、市民病院を利用する際には、初診時選定療養費が必要になる場合があることを含めて、在宅当番医制度変更の周知を予定しています。

### ●小中学校規模適正化方針（仮称）の策定

教育委員会から今後の小中学校の在り方について市民に提示するため、小中学校規模適正化方針（仮称）を令和2年度までに策定する考えが示されました。

平成30年度に開催された「まちづくりと公共施設の将来を考えるワークショップ」において、適正な学校規模や将来の学校配置について市の考え方を求める意見が多く出たことも踏まえ、今後ますます少子化が進展し、学級数の減少も想定される状況において、「生き残る力」を育む学校教育環境を維持・向上させるため、適正な学校規模を示します。また、その基準に照らして発生が予想される課題に対

する具体的な対応方法・手順を提示します。

## 文教委員会 行政視察を行う

先進自治体の事例を学ぶため、10月29日から31日まで次のとおり行政視察を行いました。

- ・兵庫県相生市／子育て応援施策「11の鍵」
- ・香川県丸亀市／地域学校協働活動
- ・岡山県瀬戸内市／瀬戸内市民図書館
- ・兵庫県たつの市／地域包括支援（生活支援・地域づくり、認知症施策）



たつの市での視察の様子

### 3月定例会予定

3月市議会定例会は、2月26日(水)から開会する予定です。

詳しい日程は、2月20日(木)に開かれる予定の議会運営委員会で決まりますので、それ以後に議会事務局へお問い合わせください。  
なお、本会議の日程と一般質問の内容は、市役所1階ロビーや市議会ホームページでもお知らせします。

## 議会日誌

9月27日から12月16日

### 10月

29日～31日 文教委員会行政視察

### 11月

8日 議会運営委員会理事会

18日～19日 経済委員会行政視察

21日 議会運営委員会理事会

22日 名鉄西尾・蒲郡線存続協議会

25日 12月定例会招集告示

議会運営委員会理事会

議案説明会

28日 議会運営委員会理事会

議会運営委員会

### 12月

5日～16日 12月定例会

16日 議会だより編集委員会

議会運営委員会理事会



議会だよりは点字版、  
テープ版・CD版も  
発行しています

点字版は、点訳グループ「あい」の皆さん、テープ版・CD版は、音訳グループ「声」の皆さんのご協力で発行されています。  
また、議会だよりは蒲郡

本会議の傍聴を希望される方には、会議当日、市役所7階の議会事務局で先着順に傍聴証をお渡しします。ぜひ傍聴にお越しください。



平成31年で始まった昨年は、5月1日から令和と改元されました。その平成31年の2月に県知事選、4月に県議選、市議選があり、令和になった7月に参院選、10月に市長選が行われ、鈴木寿明新市長が誕生しました。

そして、令和元年度の12月定例市議会は鈴木新市長が臨んだ初の議会でした。そのようなこともあり、今議会の一般質問者の17人中7人がマニフェスト等についての質問をして、新市長を初めとする市当局と議論を戦わせました。

さて、平成31年4月21日に行われた蒲郡市議会議員一般選挙の投票率は53.43%でしたが、昭和30年3月29日に行われた第1回目の蒲郡市議会議員一般選挙の投票率は、92.3%だったと記録されています。「時代が違う」などと開き直る前に、次回の選挙の投票率をたとえ1%でもアップ出来るよう、蒲郡市民の皆様に興味を持って頂ける市議会にして、その議会の様子を議会だよりでお知らせするため、議会だより編集委員一同頑張ります。

### 議会だよりをスマホへ配信します！

QRコードを読み込むか「マチイロ」で検索



無料です！

駅(観光交流センターナビテラス)、市民病院、市立図書館にも置いてあります。

### 今月の表紙 プロから学ぶ夢のひととき

プロ野球福岡ソフトバンクホークスの千賀滉大投手と中日ドラゴンズの伊藤康祐選手の2人による野球教室が、令和元年12月7日に開催されました。

野球教室に集まった市内のスポーツ少年団の子どもたちは各グループに分かれて、投球やバッティングフォームなど、両選手から熱心な指導を受けました。

野球が大好きな子どもたちにとって、憧れの選手と一緒に撮った記念写真。皆さんいい笑顔です。

